

目次

C O N T E N T S

総論

1 小児の特徴	白木和夫	1
① 常に成長，発達している		1
② 生理機能の一部は発達途上である		1
③ 小児独特の疾患が多い		1
④ トランジション		1
⑤ 成人で顕症化する疾患の 小児期からの予防		2
⑥ 家族との関係		2
2 成長		3
① 正常小児の身体発育	高田 哲	3
① 体重		3
② 身長		4
③ 頭囲・胸囲		4
④ 大泉門		4
② 骨年齢・生歯		4
① 骨年齢		4
② 生 歯		5
3 発 達		11
① 血液・免疫	小田 慈	11
① 血液系の発達		11
② 免疫系の発達		11
② 生理機能の発達		12
① 心拍・血圧・呼吸・体温	田崎 考	12
② 水分代謝(腎機能)	岡田晋一	13
③ 消化吸収機能	白木和夫	14
③ 運動機能の発達	前川喜平	16
① 主な粗大運動発達		16
② 運動発達の順序		17
③ 微細運動発達		17
④ 精神発達		18
③ 成長の評価	伊藤善也	7
① 評価の指標		7
② 身体計測値の評価		8
③ 発育指数		8
④ 思春期の身体の変化		9
① 思春期の考え方		9
② 思春期の身体発育経過		9
⑤ 子どもの特性と養育環境による発達の変化		20
① 健常児で運動機能が遅れたときに 考えること		20
② 発達障害，発達障害類似の 乳幼児の増加		20
③ 発達障害にみられやすい症状		21
⑥ 発達の評価法	永井利三郎	21
① 問診と観察による マイルストーンの評価		21
② 反射の評価による発達年齢の評価		22
③ 発達検査法を用いた発達年齢の評価		22

4 栄 養	児玉浩子 …… 26
①日本人の食事摂取基準 …… 26	
②乳児期の栄養 …… 27	
①乳児期前半 …… 27	
②母乳の利点・留意点および 母乳栄養の推進 …… 27	
5 フィジカルアセスメント	34
①バイタルサイン …… 田崎 考 …… 34	
②意識状態の評価 …… 宮坂勝之 …… 36	
①意識とは …… 36	
②意識状態の評価 …… 36	
③意識の神経経路 …… 37	
④意識障害の評価 …… 37	
③頭頸部 …… 永井利三郎 …… 40	
①形態、外表、毛髪 …… 40	
②目、耳、鼻 …… 41	
③口 腔 …… 42	
④頸 部 …… 42	
④胸部の診察 …… 田崎 考 …… 42	
①視診と触診(打診) …… 42	
⑤腹 部 …… 白木和夫 …… 45	
	③乳児用調製粉乳、治療乳 …… 29
	④乳児期後半(離乳期)の栄養 …… 30
	③幼児期の栄養 …… 30
	④学童期・思春期の栄養 …… 32
	⑤食 育 …… 33
	①視 診 …… 45
	②触診・打診 …… 45
	③腹部聴診 …… 46
	⑥反射の発達 …… 永井利三郎 …… 46
	①原始反射 …… 47
	②姿勢反射 …… 49
	③深部反射 …… 49
	⑦栄養状態の評価 …… 大矢紀昭 …… 50
	①栄養状態の判定指標 …… 50
	②症状、所見 …… 51
	③検査所見 …… 51
	④栄養状態評価時の注意点 …… 51
	⑤メタボリック・シンドローム …… 51
6 保 健	衛藤 隆 …… 53
①小児保健と行政・福祉 …… 53	
②死亡統計・年齢別死因 …… 56	
7 小児医療に関する倫理的問題	松田一郎 …… 62
①生命倫理の基本原則 …… 62	
②小児科臨床における倫理問題 …… 63	
①自己決定権 …… 63	
②インフォームド・コンセント、 インフォームド・アセント …… 63	
	③パターンリズム …… 64
	④守秘義務 …… 65
	⑤真実の告知 …… 65
8 治 療	66
①小児の薬物療法の特徴 …… 塩川 満 …… 66	
①薬物動態の特徴 …… 66	
②小児薬用量の算出方法 …… 67	
②輸液療法の基本 …… 染谷朋之介、清水俊明 …… 68	
①輸液とは …… 68	
②輸液の方法~どうやって?~ …… 68	
	③輸液製剤~何を?~ …… 68
	④小児に必要な水分量~どれだけ?~ …… 68
	⑤小児に必要な電解質 …… 69
	⑥具体的な輸液スピードについて …… 71
	⑦まとめ …… 72
	③輸 血 …… 小田 慈 …… 73
	①輸 血 …… 73

② 全血輸血と成分輸血	73	④ 小児慢性特定疾患治療研究事業	74
③ 輸血に伴う有害事象(副作用・合併症)と自己血輸血	73 大関武彦	74
9 小児によくみられる症候の病態生理	75		
① 発熱	75	① 嘔吐	80
① 体温の調節機構	75	② 下痢	81
② 発熱の機序	76	⑤ 咳そう	83
③ 熱型	76 山田 明	83
④ 発熱の原因疾患	77	⑥ 浮腫	83
② 頭痛	77	① 浮腫の病態	84
① 痛みの発生機序	77	② 浮腫を認める疾患・病態	84
② 頭痛の分類	77	⑦ チアノーゼ	86
③ 一次性頭痛	77 田崎 考	86
④ 二次性頭痛との鑑別	78	⑧ ショック	87
③ 腹痛	78 高田 哲	89
① 腹痛の発生機序	79	⑨ 痙攣	89
② 臨床的にみた腹痛の種類	79 高田 哲	89
③ 腹痛の評価	80	⑩ 黄疸	89
④ 嘔吐・下痢	80	① 定義	89
10 小児救急疾患	80	② 病態生理	90
		③ 症状	90
		④ 鑑別すべき疾患	90
		⑤ 体質性黄疸	92
	 上谷良行	94
① 救急処置が必要な子ども	94	② 治療	99
② 誤飲・誤嚥とその処置	95	③ 予後	99
① 消化管異物	95	⑤ 頭部外傷と乳幼児の意識レベルの判定	99
② 気道異物	96	99
③ 誤飲・中毒	96	① 頭部外傷	99
③ 熱傷の特徴・重傷度および処置	97	② 意識レベルの判定	100
① 小児の熱傷の特徴	97	⑥ 小児の救命処置	100
② 診断	97	① 小児の一次救命処置	100
③ 処置	97	② 気道閉塞の解除	101
④ 溺水とその処置	98	⑦ 救急処置を受ける子どもの不安の緩和	101
① 病態	99	101

各 論

1 先天異常	102		
① 先天異常の種類と特徴	102	② 先天異常の成因別分類と発生頻度	102
..... 升野光雄	102	102
① 先天異常と遺伝性疾患	102	② 染色体異常	105
.....	102 野中路子	105

① 染色体と遺伝子	105		
② 染色体の数や構造の異常	106		
③ 常染色体の異常	107		
④ 性染色体の異常	107		
⑤ 染色体微細構造異常	107		
⑥ 新しい遺伝学的解析体制の構築	108		
③ 外因による奇形	常石秀市	108	
① 感染に伴うもの	108		
② 薬物, 化学物質	110		
④ 先天的な問題を持つ子どもと家族			
2 代謝性疾患			119
① 子どもの代謝の特徴と発達	山口清次	119	
① 子どもによくみられる代謝異常	119		
② 新生児マススクリーニング	119		
② 先天代謝異常の分類	120		
① 先天代謝異常の分類	120		
② 先天代謝異常の主な臨床徴候	120		
③ 先天代謝異常の診断	120		
④ 先天代謝異常の治療	121		
⑤ アミノ酸代謝異常症	121		
⑥ 有機酸代謝異常症	122		
			⑦ 糖質代謝異常症 123
			⑧ リソソーム病 123
			⑨ その他の代謝異常 124
			③ 糖尿病 八木麻理子 124
			① 子どもの糖尿病の特徴と疫学 124
			② 糖尿病の種類とその症状・治療 124
			③ 糖尿病の生活指導 126
			④ 脱水 128
			① 小児の体液調節の特徴 128
			② 脱水の重症度評価とケア 128
			③ 体液の電解質, 酸塩基平衡 130
3 内分泌疾患			131
① 子どもの内分泌疾患の特徴と疫学	大山建司	131	
① 内分泌系の情報伝達機構	131		
② 子どもの内分泌疾患の疫学	131		
③ 主なホルモンの種類と作用	132		
④ 子どもの内分泌疾患の見方, 主要症候	133		
② 成長ホルモン分泌不全性低身長症	大関武彦	140	
			① 低身長の評価 140
			② 診断と治療 140
			③ 成長ホルモン療法の生活指導 141
			③ 尿崩症 141
			④ 先天性甲状腺機能低下症 141
			⑤ 甲状腺機能亢進症 142
			⑥ 先天性副腎過形成症 142
			⑦ 性早熟症 143
4 免疫, アレルギー性疾患			144
① 生体の感染防御機構	市川元基	144	
① 生体における免疫系の役割	144		
② 免疫に関与する細胞や因子	144		
			③ 抗体 145
			④ 組織適合抗原 146
			⑤ 胸腺の役割 146

⑥ 免疫の成立	146	⑦ アトピー性皮膚炎	155
② 原発性免疫不全症	147	⑧ 薬物アレルギー	156
① 免疫不全症と感染	147	⑨ 食物アレルギー	157
② 免疫不全症の分類	149	⑩ アナフィラキシー	159
③ 続発性免疫不全症	150	① 定義と診断基準	159
④ アレルギーの発生機構	西野昌光 150	② アナフィラキシーの発症機序と誘因	159
① アレルギーとアレルゲン	150	③ アナフィラキシーの重症度評価と治療	159
② 子どものアレルギー疾患の特徴と疫学	152	⑪ アレルギー疾患を持つ子どもの治療と生活指導	160
③ アレルギー疾患の観察とアセスメント	152	① 環境整備	160
⑤ 気管支喘息	152	② 治療の基本・集団生活への配慮	160
⑥ アレルギー性鼻炎	154		
5 リウマチ性疾患			武井修治 165
① 小児リウマチ性疾患(膠原病)の特徴と疫学	165	③ 若年性特発性関節炎	165
① 概念とその疫学	165	④ 全身性エリテマトーデス	167
② 主な症候とアセスメント	165	⑤ 川崎病	169
② リウマチ熱	165	⑥ IgA血管炎	169
		⑦ 小児リウマチ性疾患の治療と生活指導	171
6 感染症総論			牛島廣治 172
① 子どもの感染症の特徴	172	② 学校伝染病	175
① 感染の概念	172	③ 環境と感染	175
② 母子感染	173	③ 感染症とその予防	178
③ 院内感染	173	① 予防接種の特徴	178
④ 日和見感染	174	② 隔離が必要な子どもと家族	180
⑤ 新生児期・乳幼児期・学童期・思春期の感染	174	③ 感染症情報	180
② 「感染症法」と「学校伝染病」	175	④ 感染症治療の原則	180
① 感染症法	175	① 薬剤感受性菌と耐性菌	180
		② その他の治療薬	183
7 感染症各論			184
① ウイルス感染症	植田浩司 184	⑦ 手足口病	189
① 麻疹	184	⑧ ヘルパンギーナ	190
② 風疹	185	⑨ 急性灰白髄炎ポリオ	190
③ 水痘・帯状疱疹	186	⑩ 日本脳炎	191
④ 突発性発疹	187	⑪ インフルエンザ	191
⑤ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	187	⑫ 伝染性単核症	192
⑥ 伝染性紅斑	188	⑬ 後天性免疫不全症候群:HIV感染症	193

14	ヒトパピローマウイルス	194	4	梅毒	202
15	その他のウイルス感染症	194	5	クラミジア感染症	中野貴司 202
2	細菌感染症	齋藤昭彦 194	1	肺炎クラミジア感染症	202
1	細菌の分類	194	2	性器クラミジア感染症	202
2	グラム陽性球菌	195	3	オウム病クラミジア感染症	203
3	グラム陽性桿菌	197	6	リケッチア感染症	203
4	グラム陰性桿菌	198	1	つつが虫病	203
5	グラム陰性球菌	199	2	日本紅斑熱	203
6	その他の細菌	200	3	Q熱	203
3	結核	徳永修 200	8 呼吸器疾患 山田明 204		
8 呼吸器疾患			2	急性喉頭炎	207
1	子どもの呼吸器疾患の特徴	204	3	急性気管支炎	208
1	解剖学的な特徴	204	4	急性細気管支炎	208
2	感染症の特徴	204	4	感染による肺実質、間質の炎症	209
2	呼吸器症状	204	1	ウイルス性肺炎	209
1	呼吸器症状の観察とアセスメント	204	2	細菌性肺炎	210
3	感染による気道の炎症	206	3	マイコプラズマ肺炎	210
1	上気道炎	206	9 血液疾患 212		
9 血液疾患			3	慢性骨髄性白血病(CML)	220
1	造血にかかわる諸機能の障害	小阪嘉之 212	4	その他の関連疾患	220
1	造血組織および機構	212	4	新生児・乳児ビタミンK欠乏症	小田慈 221
2	小児期の血液所見の特徴	212	5	特発性血小板減少性紫斑病	221
3	血液疾患の概要	212	6	血友病	222
2	子どもの貧血	215	7	フォンウィレブランド病	222
1	再生不良性貧血	215	8	播種性血管内凝固症候群	222
2	鉄欠乏性貧血	216	9	造血器疾患の治療	223
3	牛乳貧血	216	1	貧血の治療	223
4	遺伝性球状赤血球症	217	2	出血傾向に対する治療とケア	224
5	自己免疫性溶血性貧血	217	3	化学療法	224
3	白血病	217	4	骨髄移植、末梢血幹細胞移植、 臍帯血移植	225
1	白血病の症状とアセスメント	217	10 腫瘍性疾患 226		
2	白血病の分類	218	1	小児期悪性腫瘍の疫学	226
10 腫瘍性疾患			2	小児がん治療の目標	227
1	子どもの腫瘍性疾患の特徴	真部淳 226			

③ 小児がんの原因	227	⑦ 悪性新生物の治療とケア	235
④ 小児期悪性腫瘍の診断とアセスメント	227	① 化学療法	235
② 悪性リンパ腫	229	② 放射線療法	237
① ホジキンリンパ腫	230	③ 外科的療法	238
② 非ホジキンリンパ腫	230	⑧ 終末期にある子どもと家族	239
③ ウィルムス腫瘍	231	小澤美和	239
④ 神経芽腫	232	① ターミナル・ケア, 緩和ケアと	239
⑤ 肝芽腫	233	トータルケアの意味	239
⑥ その他の悪性腫瘍	234	② 終末期とは	240
① 骨腫瘍	235	③ 終末期のコミュニケーション	241
② 脳腫瘍	235	④ 終末期の子どもの症状緩和	242
③ 横紋筋肉腫	235	⑤ 子どもを看取る家族ケア	243
		死別後も含めて	243
11 循環器疾患	245		
① 子どもの循環器疾患の特徴	245	③ 先天性心疾患関連不整脈	266
柳川幸重	245	④ 遺伝性不整脈	267
① 循環器疾患の疫学	245	⑤ 小児期各時期における特徴的不整脈	267
② 循環器疾患の診断とアセスメント	245	⑤ 心不全	268
② 先天性心疾患	247	⑥ 起立性調節障害	268
① 心室中隔欠損	247	① 定義	268
② 心房中隔欠損	249	② 頻度	269
③ 動脈管開存症	250	③ 分類(ODのサブタイプ)	269
④ 心内膜床欠損症	251	④ 診断	269
⑤ ファロー四徴症	253	⑤ 治療	269
⑥ 完全大血管転位	254	⑦ 循環器疾患を持つ子どもの治療と日常生活	270
⑦ 左心低形成症候群	255	① 治療	270
⑧ 大動脈縮窄症	257	② 術前・術後の日常生活	270
③ 後天性心疾患	259	⑧ 手術を受ける子どもと家族	270
米坂 勸	259	① 心理的サポート	270
① 心筋症	259	② 子ども的心脏手術の特徴	272
② 心筋炎	261	③ 先天性心疾患の手術の種類	272
③ 心膜炎	261	④ 非チアノーゼ性心疾患に対する	272
④ 川崎病心後遺症	262	手術の考え方	272
⑤ 感染性心内膜炎	262	⑤ チアノーゼ性心疾患に対する	273
⑥ マルファン症候群	263	手術の考え方	273
④ 不整脈	264		
① 頻拍性不整脈	264		
② 徐脈性不整脈	266		

⑥ 緊急手術, 準緊急手術を要する疾患	273	⑧ 術後継続医療についての考え方	274
⑦ 術後の合併症の考え方	274		
12 消化管疾患	275		
① 子どもの消化管の特徴	豊田 茂 275	② 肥厚性幽門狭窄症	282
① 消化酵素の分泌	275	③ 消化性潰瘍・ヘリコバクター・ピロリ 感染症	282
② 免疫学的防御能	276	⑤ 腸の疾患	村上龍助 283
③ 各部位の特徴	276	① ウイルス性腸炎	283
② 口の疾患	277	② 細菌性腸炎	284
① 舌小帯短縮症	277	③ 腸重積症	285
② 口内炎	277	④ 急性虫垂炎	287
③ 口腔内カンジダ症 鷺口瘡	278	⑤ ヒルシュスプルング病(巨大結腸症)	287
④ 唾液腺疾患	278	⑥ 先天性消化管閉塞・狭窄	288
③ 食道の疾患	278	⑦ 肛門周囲膿瘍	289
① 先天性食道閉鎖症・狭窄症	278	⑥ 消化器疾患を持つ子どもの治療とケア	289
② 食道アカラシア	278	① 下痢と食事指導	289
③ 胃食道逆流症・食道裂孔ヘルニア	279	② 中心静脈栄養法	292
④ Mallory-Weiss症候群	280	③ 人工肛門	292
⑤ 食道・胃異物	280		
④ 胃の疾患	281		
① 胃軸捻転	281		
13 肝胆道・膵・腹膜疾患	294		
① 子どもの肝胆道・膵・腹膜疾患の特徴	虻川大樹 294	④ D型肝炎	304
② 新生児胆汁うっ滞	295	⑤ E型肝炎	304
③ 遺伝性肝内胆汁うっ滞症および シトリン欠損症	296	⑦ 急性膵炎	305
④ 胆道閉鎖症	297	⑧ 横隔膜ヘルニア	305
⑤ 先天性胆道拡張症	298	⑨ 急性腹膜炎	305
⑥ ウイルス肝炎	藤澤知雄 299	⑩ ヘルニア	305
① A型肝炎	300	① 臍ヘルニア	305
② B型肝炎	301	② 臍帯ヘルニア	305
③ C型肝炎	303	③ 腹壁破裂	306
		④ 鼠径ヘルニア	306
14 腎, 泌尿器系疾患	307		
① 子どもの腎, 泌尿器系疾患の特徴	服部新三郎 307	② 学校検尿	308
① 尿検査	307	③ 子どもの腎機能のアセスメント	310
		④ 腎生検の適応と援助	311

②腎不全	311	① アルポート症候群	320
① 急性腎障害	311	② 良性家族性血尿、菲薄基底膜病	320
② 慢性腎臓病	313	⑦先天性腎尿路異常	320
③糸球体腎炎の臨床分類	飯島一誠 314	① 腎形成異常	320
① 急性腎炎症候群	314	② 尿路通過障害(水腎症)	321
② 慢性腎炎症候群	314	③ 膀胱尿管逆流	321
④一次性糸球体疾患	岡田晋一 316	④ 重複腎盂・尿管	321
① 溶血性レンサ球菌感染後急性糸球体腎炎	316	⑤ 巨大膀胱	321
② IgA腎症	317	⑧尿路感染症	321
③ 膜性増殖性糸球体腎炎	317	⑨精巣、陰囊の疾患	322
④ 膜性腎症	317	① 停留精巣	322
⑤ 半月体形成性糸球体腎炎	318	② 精巣捻転	322
⑥ 微小変化型ネフローゼ症候群	318	③ 陰囊水腫(精巣水腫)	322
⑦ 巣状分節性糸球体硬化症	318	⑩腎疾患を持つ子どもの治療とケア	服部新三郎 322
⑤全身疾患に基づく糸球体腎炎	319	① 食事指導	322
① 溶血性尿毒症症候群	319	② 生活管理指導	323
② 紫斑病性腎炎	319	③ 薬物療法	323
③ ループス腎炎	319	④ 透析療法の適用基準と選択	323
⑥遺伝性腎炎	320	⑤ 腎移植	327
15 神経性疾患	329		
①子どもの中枢性疾患の特徴	永井利三郎 329	④奇形	338
① 中枢性疾患の症候とアセスメント	329	① 神経細胞移動障害	338
② 中枢性疾患の診断	330	② 二分脊椎(神経管閉鎖障害)	340
②髄膜炎、脳炎、脳症	熊田知浩 332	⑤脳腫瘍	341
① 化膿性髄膜炎	332	① 髄芽腫	341
② 無菌性髄膜炎	333	② 頭蓋咽頭腫	342
③ 脳炎	334	⑥脳血管性疾患	342
④ 急性脳症	335	① 頭蓋内出血	342
③神経皮膚症候群	336	② もやもや病(ウイリス動脈輪閉塞症)	343
① 結節性硬化症	336	⑦脳性まひ	344
② 神経線維腫	337	⑧リハビリテーションに向けた看護	346
③ スタージ・ウェバー症候群	338	⑨在宅ケア	347
16 子どもの痙攣性疾患	石田喬士 348		
①子どもの痙攣性疾患の特徴	348	③脳波検査	348
②子どもの痙攣性疾患の疫学	348	④熱性痙攣	348

⑤ てんかん	349
① 概念	349
② てんかん発作の国際分類	350
③ てんかんおよびてんかん症候群の 国際分類	350
④ 點頭てんかん ウエスト症候群	351
⑤ レンノックス・ガストー症候群	351
⑥ 小児欠神てんかん	351

17 運動器疾患

① 子どもの運動器疾患の特徴	354
① 筋収縮の機構とその障害	354
② 臨床検査	354
② 筋ジストロフィー	355
① デュシェンヌ型筋ジストロフィー/ ベッカー型筋ジストロフィー	355
③ 先天性筋ジストロフィー	356
① 福山型先天性筋ジストロフィー	356
④ 先天性ミオパチー	357
⑤ ミトコンドリア病(脳筋症)	357
① 慢性進行性外眼筋麻痺	357
② MERRF	357

18 発達障害および精神疾患

① 発達障害とその分類	林 隆	360
② 知的能力障害(知的発達症/知的発達障害)		362
③ 限局性学習症/限局性学習障害		363
④ 注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害		363
⑤ 自閉スペクトラム症/ 自閉症スペクトラム障害		364
⑥ 発達障害の医療		365
⑦ 特別支援教育の実際：教育現場での対応		365
⑧ 障害福祉制度		365
⑨ 排泄障害	柳川敏彦	366
① 夜尿症		366
② 遺糞症		367

⑦ 中心・側頭部に棘波を持つ良性 小児てんかん	352
⑥ 泣き入りひきつけ	352
⑦ 痙攣性疾患の治療	352
① 痙攣重積状態の治療	352
② てんかんの治療	352
⑧ 痙攣性疾患の日常生活での注意点	353

竹島泰弘 ... 354

③ MELAS	358
⑥ 多発性筋炎	358
⑦ 脊髄性筋萎縮症	358
① ウエルドニツヒ-ホフマン病	358
⑧ 重症筋無力症	358
⑨ 骨系統疾患	359
① 先天性股関節脱臼	359
② ペルテス病	359
③ 先天性筋性斜頸	359
⑩ 在宅人工呼吸管理	359
① 非侵襲的陽圧換気療法	359
② 侵襲的陽圧換気療法	359
⑩ チック症, トウレット(チューレット)症	368
⑪ 幼児期または小児早期の哺育, 摂食障害	368
① 異食症	369
② 反すう症	369
③ 幼児期または小児期早期の哺育障害	369
⑫ 思春期に生じる摂食障害	369
① 神経性食欲不振症	369
⑬ 睡眠障害	370
⑭ ヒステリー	372
⑮ 児童虐待	372
① 児童虐待の概要	372
② 児童虐待防止に関する法律	373
⑯ 不登校	373

新生児および周産期疾患

1 新生児とその適応生理	平野慎也 ... 376
①胎児血液循環と新生児循環	376
①胎児循環	376
②新生児循環	377
②新生児に関する言葉の定義	378
2 新生児仮死	高田 哲 ... 385
①新生児仮死の概念	385
②新生児仮死を引き起こす要因とその予測	385
③アプガー・スコア	385
④蘇 生	385
⑤低酸素性虚血性脳症	387
3 新生児黄疸	李 容桂 ... 390
①ビリルビン代謝	390
②病的黄疸の分類と診断	391
①早発黄疸	391
②重症黄疸	391
4 新生児の呼吸障害	高田 哲 ... 395
①新生児の呼吸障害とそのアセスメント	395
②新生児一過性多呼吸	396
③胎便吸引症候群	396
④新生児遷延性肺高血圧症(胎児循環遺存症)	397
⑤呼吸窮迫症候群	397
5 新生児感染症	常石秀市 ... 401
①新生児感染症の特徴	401
②感染経路	401
①経胎盤感染	401
②経産道感染	401
③母乳感染	402
④院内感染(水平感染)	404
③B群溶血性レンサ球菌感染症	404
④ウイルス胎児感染	405
⑥新生児の頭蓋内出血	387
①脳室内および脳室周囲出血	388
②硬膜下出血, 硬膜外出血	388
③くも膜下出血	388
⑦脳室周囲白質軟化症	389
⑧ハイリスク児のフォローアップ	389
③遷延性黄疸	392
③母乳栄養に関連した黄疸	393
④核黄疸	393
⑤黄疸の治療	394
⑥慢性肺疾患	398
⑦無呼吸発作	398
⑧在宅医療の導入	399
①在宅酸素療法	399
②在宅人工呼吸療法	400
⑨在宅医療の現況	400

関連領域

1 皮膚科	西本周平, 吉田和恵 ... 406
①母 斑	406
①赤あざ	406
②青あざ	406
③茶あざ	407

② 湿疹・皮膚炎	407	③ 皮膚感染症	407
2 歯科		馬場祥行, 金田一純子	409
① 歯の種類と萌出	409	④ 歯列・咬合の異常	412
② 日常よくみられる小児の歯科疾患	410	⑤ 先天性疾患・全身疾患に伴う歯科疾患	412
① 歯の疾患	410	⑥ 口腔習癖	413
② 口腔粘膜の疾患	411	⑦ 入院患者の歯科的管理	414
③ 口腔外傷	412		
3 耳鼻咽喉科		大津雅秀	415
① 急性中耳炎	415	⑤ 慢性副鼻腔炎	418
① 病態	415	① 病態	418
② 診断	415	② 診断	418
③ 治療	415	③ 治療	418
④ 合併症	415	⑥ アデノイド肥大・口蓋扁桃肥大	418
② 滲出性中耳炎	415	① 病態	418
① 病態	415	② 診断	418
② 診断	415	③ 治療	419
③ 治療	417	⑦ 声帯結節	419
③ 先天性感音難聴	417	① 病態	419
④ 鼻出血	417	② 診断	419
① 病態	417	③ 治療	419
② 治療	417		
4 眼科		野村耕治	420
① 流涙・眼脂・結膜充血	420	② 眼瞼下垂	421
① 鼻涙管閉塞	420	③ 白色瞳孔	421
② 結膜炎	420	① 網膜芽細胞腫	421
③ 霰粒腫・麦粒腫	420	② 第1次硝子体過形成遺残	422
④ 眼瞼内反症	420	③ 網脈絡膜欠損(コロボーマ)	422
⑤ 緑内障	421	④ コーツ病・滲出性網膜炎	422
② 眼位異常・頭位異常・眼球運動障害	421	④ 瞳孔領白濁	422
① 斜視	421	① 白内障	422
5 整形外科		衣笠真紀	423
① 発育性股関節形成不全	423	② 診断	423
① 発育性股関節形成不全とは	423	③ 治療	425